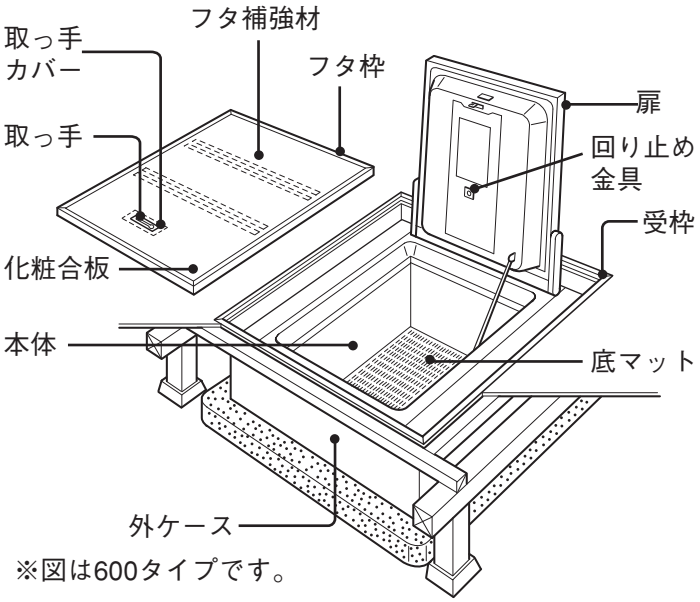
National

施工説明書
床下耐火金庫



※図は600タイプです。

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■添付の取扱説明書およびキー（2ヶ）は必ずお客様に直接お渡しください。
■取扱説明書は秘密保持のため、工事店様では絶対に開封しないでください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠注意

分解禁止	●商品の分解・修理・改造は絶対にしない。 （故障や事故の原因となります。）	禁止	●2階以上へは取り付けない。床下耐火金庫は1階専用です。（火災の時、階下へ落下し、事故の原因となります。） ●本体は完全防水ではありませんので、地表面（G.L.）より下には埋設しない。（浸水の原因となります。） ●本体は横向きに取り付けない。（バネの力で扉が開き、けがの原因となります。） ●ガス・水道管・電気配線のある場所に設置しない。（事故の原因となります。）
必ず守る	●開口部の補強根太（現場調達）は、90×45のものを使い、十分強度を確保する。 ●床の強度は、束を入れて十分確保する。 （強度が十分でない場合、本体が落下して、けがの原因となります。）	必ず守る	●本体の持ち上げ、持ち運びの際は、扉が確実に閉じているか確認した後行う。 （扉が開くとけがの原因となります。）

梱包内容

〔本体梱包〕

部品名称	入り数
本体	1
底マット	1
本体固定用小ねじ	2
本体固定用平座	2
本体固定用パッキン	2

〔外ケース・アルミ枠梱包〕

部品名称	入り数	部品名称	入り数	部品名称	入り数
フタ枠	1	外ケース	1	取っ手取り付け用ねじ ナベM3×L20	2
フタ補強材	2	化粧合板	1		
取っ手	1	フタ枠用タッピンねじ φ3.1×L16	8	受枠用皿木ねじ φ3.8×L25	4
取っ手カバー	1				
受枠	1	フタ補強材用タッピンねじ φ4×L12	24		

注意　ダイヤルは回り止め金具で固定されていますので工事店様では回さないでください。

※施工前に下記のことを配慮し、取り付け位置を決めてください。
浸水・溜水……床下浸水のおそれのある場所、地下水位の高い場所及び地下に水の溜りやすい場所には取り付けないでください。
床材……木質直貼床材（裏面クッション材貼り）には使用しないでください。（たわみの原因となります。）
本体取り付け方向…床材の木目方向とフタ枠の補強材が直交するように取り付け方向を決めてください。

この説明書は再生紙を使用しています。
JU－53　第7版 0612

施　工　の

施工前の確認

1 補強根太の水平を確認する。

2 床面より339（440）mmの深さになるようにモルタルを打つ。
※モルタルの厚みは50～70mmを確保してください。

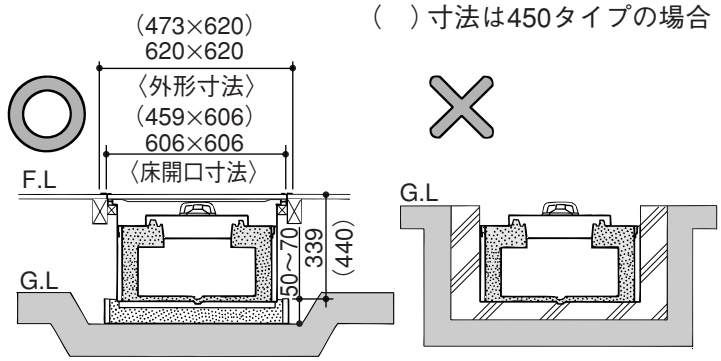
注意
●外ケースの下は、必ずモルタルで受けてください。（住宅の構造上、モルタルで固定できない場合は、φ4×50の木ねじ8本で外ケースを固定してください。）

⚠注意

禁止

2階以上へは取り付けない。床下耐火金庫は1階専用です。
火災の時、階下へ落下し、事故の原因となります。

（　）寸法は450タイプの場合

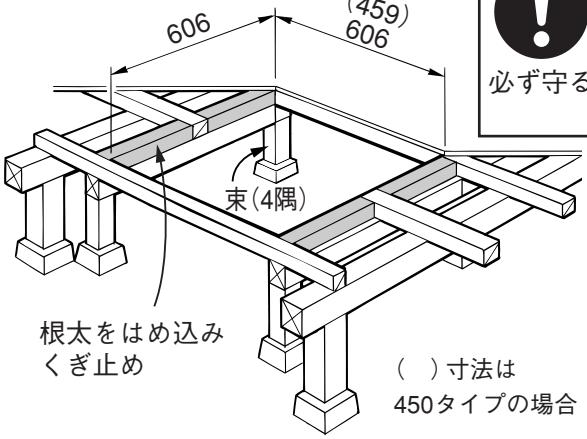


1 床組み・床施工

1 床開口をつくる。

2 床張りを行う。

注意
●床鳴り・きしみなどを防ぐため、床と開口部補強根太は、接着剤・釘などでしっかり固定してください。
●ガス・水道管に十分注意して施工してください。



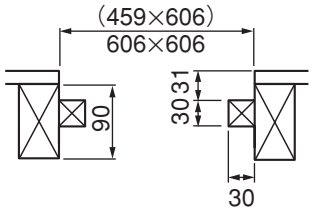
（　）寸法は
450タイプの場合

⚠注意

必ず守る

●開口部の補強根太（現場調達）は、90×45のものを使用する。
●床の強度は束を入れて十分確保する。
強度が十分でない場合、本体が落下して、けがの原因となります。

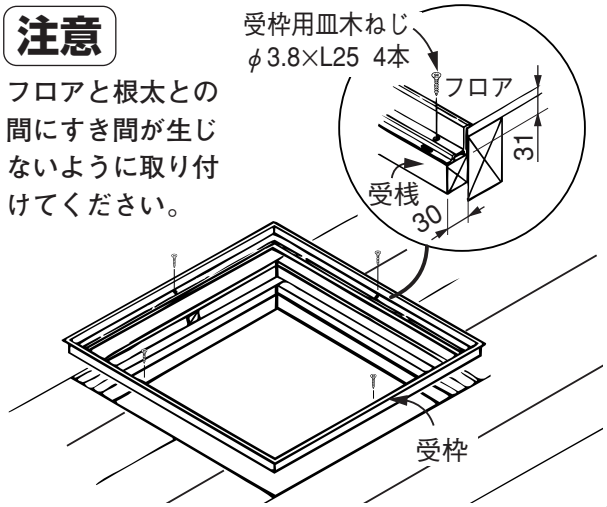
※根太を全周にまわす
※受枠補強桟〈30×30〉を取り付ける。



2 受枠の取り付け

●受枠を受枠用皿木ねじで固定する。

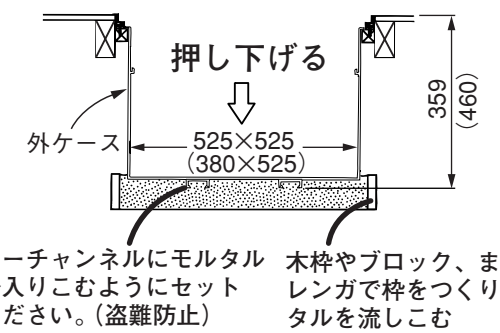
注意
フロアと根太との間にすき間が生じないように取り付けてください。



3 外ケースの取り付け

注意
外ケースの下は全面、必ずモルタルで受けて、裏面アンカー用チャンネル（高さ20mm）にモルタルが十分入りこむようセットしてください。

（　）寸法は450タイプの場合



し　か　た

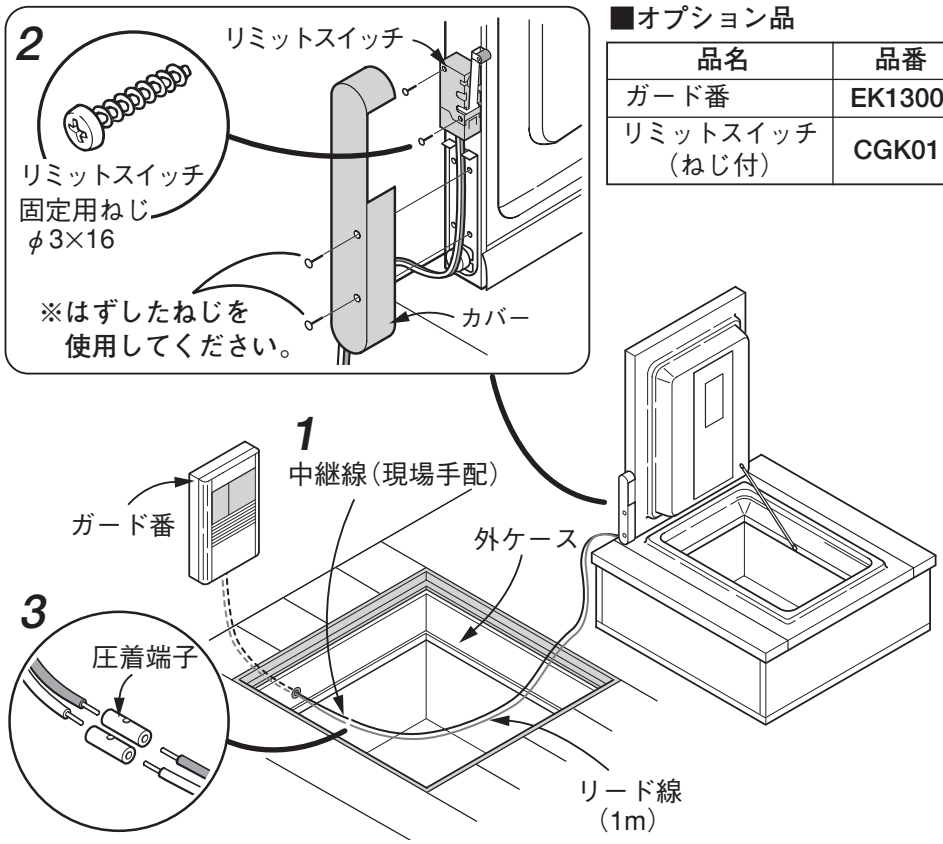
オプション品の取り付け（ガード番・リミットスイッチ）

■電気工事店様へ…ガード番の施工説明書を必ずお読みの上、正しく接続し、動作確認をしてください。

1 ガード番の中継線を外ケースの穴から中へ出しておく。

2 カバーを取りはずし、リミットスイッチを固定用ねじ（φ3×16 2本）で図のように取り付け、付属のカバーを取り付ける。

3 圧着端子で結線し、線のたるみがなくなるまで外ケースの穴へ押し込む。



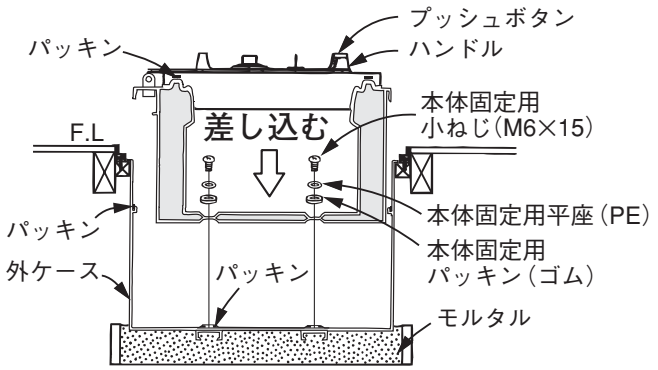
■オプション品

品名	品番
ガード番	EK1300
リミットスイッチ（ねじ付）	CGK01

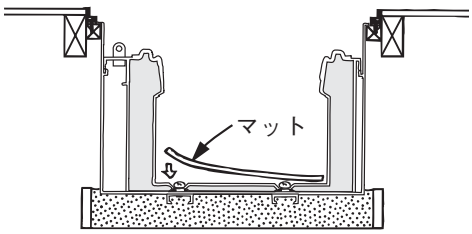
4 本体・底マットの取り付け

1 外ケース内に本体を挿入した後、扉を開け、底面を本体固定用ねじで締付ける。
※盗難防止のため確実に締めてください。

扉のあけかた
①キーを右に回す。
②ハンドルに付いているプッシュボタンを押して扉を開く。



2 本体底面のねじが締まっているか確認後、底マットを取り付ける。



⚠注意

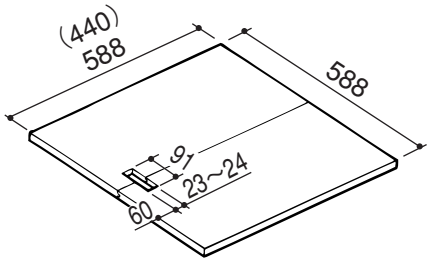
必ず守る

本体の持ち上げ、持ち運びの際は、扉が確実に閉じているか確認した後行う。
扉が開くとけがの原因となります。

5 フタの作りかた

1 床材を加工する。

※床材板厚は15mmが適正です。
加工寸法は付属しております化粧合板をゲージとしてお使いください。



( )寸法は
450タイプの場合

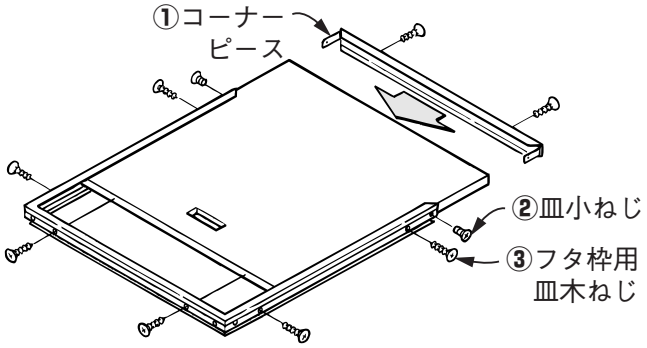
●板厚12mmの場合……裏面に付属の化粧合板を貼って15mmにする。
●板厚15mm以上の場合…裏面をかきとりして15mmにする。

注意

●サネ部の接着は確実に行ってください。
(たわみの原因となります。)
●フロアと化粧合板は確実に接着してください。(たわみの原因となります。)
●防音直貼フロア、カーペットなどの荷重による沈みが発生する床材は使用しないでください。

2 フタ枠を取り付ける

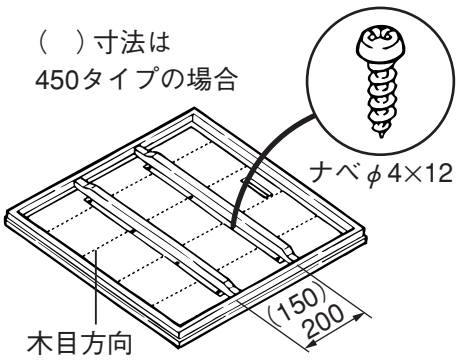
①フタ枠の一辺をはずす。
(対向の皿小ねじ2本をゆるめる。)
②床材を差込み、フタ枠を組立てる。
(皿小ねじを締め直す。)
③フタ枠用皿木ねじで固定する。



注意 フタ枠が反るほど締めすぎないでください。
(すき間・音鳴りの原因となります。)

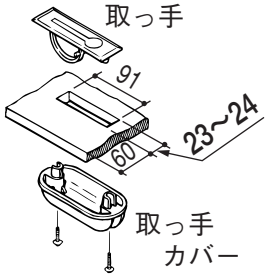
3 フタ補強材を取り付ける

( )寸法は
450タイプの場合

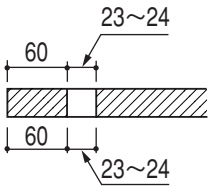


注意 板の継目とフタ補強材が直角になるように取付けてください。

4 取っ手を取り付ける



フタ板断面図



注意
●表裏同じ寸法で加工してください。
●取っ手が自立しないことを確認してください。(穴が小さいと取っ手が自立し、つまづくおそれがあります。)
●手回しドライバーで固定してください。(電動ドライバーの場合、破損するおそれがあります。)

6 施工後の確認

■下記の項目について、施工後の確認をしてください。事故の原因となります。

チェック項目	チェック
フタの開閉はスムーズですか？	
本体と受枠の納まりはよいですか？	
取扱説明書・キーは施主様にお渡しいただけましたか？	

松下電工株式会社　収納システム事業部
［〒571-8686］大阪府門真市門真1048

© 2006 Matsushita Electric Works, Ltd.All Rights Reserved.